

長岡工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	基礎情報処理	
科目基礎情報							
科目番号	0003		科目区分		専門 / 必履修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		履修単位: 2		
開設学科	環境都市工学科		対象学年		1		
開設期	通年		週時間数		2		
教科書/教材	改訂版 高等学校 社会と情報 (数研出版) , 情報処理の基礎 -エンジニアの卵たちへ- (長岡高専情報処理共通化WG)						
担当教員	小島 由記子						
到達目標							
本校の情報ネットワークの利用方法を習得する。情報を操作する上での注意事項を理解し、実践出来るようにする。文書作成、表計算ソフトによる報告書の作成・データ処理を習得する。コンピュータについて、座学と実習により理解する。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	本校の情報ネットワークの利用方法を習得する。		本校の情報ネットワークの利用方法を概ね習得する。		本校の情報ネットワークの利用方法を習得できない		
評価項目2	情報を操作する上での注意事項を理解し、実践出来る。		情報を操作する上での注意事項を理解し、概ね実践出来る。		情報を操作する上での注意事項を理解し、実践出来ない。		
評価項目3	文書作成、表計算ソフトによる報告書の作成・データ処理を習得する。		文書作成、表計算ソフトによる報告書の作成・データ処理を概ね習得する。		文書作成、表計算ソフトによる報告書の作成・データ処理を習得できない。		
評価項目4	コンピュータについて、座学と実習により理解する。		コンピュータについて、座学と実習により概ね理解する。		コンピュータについて、座学と実習により理解できない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	ホームルームにおける授業と、端末室における実習授業を行うため、場所をその都度指示する。						
授業の進め方・方法	情報処理は多くの学生が既に親しんでいる内容が含まれるものの、人により進度や理解度がかかなり異なるため、自分から意欲的に課題に取り組む姿勢が必要となる。						
注意点	授業中の態度が著しく悪い場合、また欠席や遅刻の回数に応じて、評価からの減点を行うことがある						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	授業の導入とパソコンの仕組み		授業の導入とパソコンの仕組みを理解する		
		2週	情報処理とインターネットの基礎		情報処理とインターネットの基礎を理解する		
		3週	端末室のコンピュータの基本設定		端末室のコンピュータの基本設定を理解する		
		4週	アプリケーションの利用とタッチタイプ		アプリケーションの利用とタッチタイプを理解する		
		5週	日本語入力とメールの使用		日本語入力とメールの使用を理解する		
		6週	ワープロソフトの使用 1		ワープロソフトの使用を理解する		
		7週	ワープロソフトの使用 2		ワープロソフトの使用を理解する		
		8週	ファイルの操作と表計算ソフトの使用		ファイルの操作と表計算ソフトの使用を理解する		
	2ndQ	9週	表計算ソフトの使用		表計算ソフトの使用を理解する		
		10週	表計算ソフトの使用およびプレゼンテーションソフトの使用		表計算ソフトの使用およびプレゼンテーションソフトの使用を理解する		
		11週	プレゼンテーションソフトの使用		プレゼンテーションソフトの使用を理解する		
		12週	インターネットによる土木・環境都市工学の学習		インターネットによる土木・環境都市工学の学習を理解する		
		13週	情報と社会生活		情報と社会生活を理解する		
		14週	情報と社会生活		情報と社会生活を理解する		
		15週	前期末試験				
		16週	試験解説と発展授業				
後期	3rdQ	1週	プログラミングの基礎 1		プログラミングの基礎を理解する		
		2週	プログラミングの基礎 2		プログラミングの基礎を理解する		
		3週	プログラミングの基礎 3		プログラミングの基礎を理解する		
		4週	プログラミングの基礎 4		プログラミングの基礎を理解する		
		5週	UNIX の利用 1		UNIX の利用を理解する		
		6週	UNIX の利用 2		UNIX の利用を理解する		
		7週	ネットワークの利用 (モラル) 1		ネットワークの利用 (モラル) を理解する		
		8週	ネットワークの利用 (モラル) 2		ネットワークの利用 (モラル) を理解する		
	4thQ	9週	ネットワークの利用 (Web 作成) 1		ネットワークの利用 (Web 作成) を理解する		
		10週	ネットワークの利用 (Web 作成) 2		ネットワークの利用 (Web 作成) を理解する		
		11週	ネットワークの利用 (Web 作成) 3		ネットワークの利用 (Web 作成) を理解する		
		12週	ネットワークの利用 (Web 作成) 4		ネットワークの利用 (Web 作成) を理解する		
		13週	ネットワークの利用 (Web 作成) 5		ネットワークの利用 (Web 作成) を理解する		
		14週	ネットワークの利用 (モラル) 3		ネットワークの利用 (モラル) を理解する		
		15週	学年末試験				
		16週	試験解説と発展授業				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	情報リテラシー	情報リテラシー	情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を活用できる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11
				論理演算と進数変換の仕組みを用いて基本的な演算ができる。	2	前1,前2,前3,前4,前5
				コンピュータのハードウェアに関する基礎的な知識を活用できる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,後5,後6
				情報伝達システムやインターネットの基本的な仕組みを把握している。	2	前2,前3,前4,前5,前12,前13,前14,後5,後6,後7
				同一の問題に対し、それを解決できる複数のアルゴリズムが存在していることを知っている。	2	後1,後2,後3,後4
				与えられた基本的な問題を解くための適切なアルゴリズムを構築することができる。	2	後1,後2,後3,後4
				任意のプログラミング言語を用いて、構築したアルゴリズムを実装できる。	2	後3,後4
				情報セキュリティの必要性および守るべき情報を認識している。	2	前2,前5,前12,前13,前14,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14
				個人情報とプライバシー保護の考え方についての基本的な配慮ができる。	2	前2,前5,前12,前13,前14,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14
				インターネット(SNSを含む)やコンピュータの利用における様々な脅威を認識している	2	前2,前5,前12,前13,前14,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14
				インターネット(SNSを含む)やコンピュータの利用における様々な脅威に対して実践すべき対策を説明できる。	2	前2,前5,前12,前13,前14,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14

評価割合							
	試験	レポート	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	20	70	0	10	0	0	100
基礎的能力	10	35	0	5	0	0	50
専門的能力	10	35	0	5	0	0	50
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0